

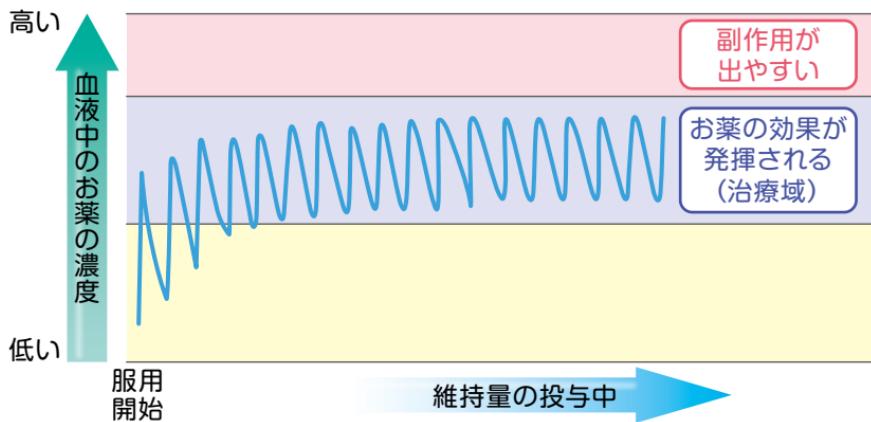
炭酸リチウム錠「大正」 を服用される 患者さんとご家族の方へ

お薬の効果を十分に発揮させ、
副作用を防ぐために、
注意していただきたいことがあります。



安全に服用していただくために

何らかの原因で血液中のお薬の濃度が適切な範囲(治療域)を超えると、副作用(中毒症状)が出やすくなります。



十分な効果を発揮し、リチウム中毒の発現を防ぐために、血液中の濃度を定期的に測定し、お薬の量を調整します。

飲みはじめ
または
お薬の量を増やしたとき

1週間に1回をめど



お薬の量が
一定になったら

2~3カ月に1回をめど



Check!

その他にも、副作用が疑われる症状や、体調の変化があらわれたときなど、必要に応じて測定します。

血液中のお薬の濃度が 上がりやすくなる原因について

食事・水分摂取量不足、脱水状態や他のお薬の影響で、このお薬の血液中の濃度が上がりやすくなることがあります。

服用中は次のことに注意して下さい。

食事や水分が
十分とれない
状態が続いたとき

脱水をおこしやすい
病気にかかったとき
(発熱などを伴う場合)

運動や炎天下の
活動により、過度に
発汗し、水分補給が
不十分だったとき



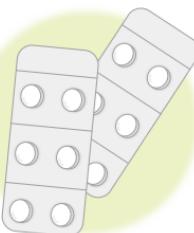
Check!

このようなときは、リチウム中毒にならないように
水分・塩分※を適宜補給するようにして下さい。

※:たとえばナトリウムを含む飲み物(スポーツドリンク)など

痛み止め*、解熱薬*、風邪薬*
などを飲んだとき

*:非ステロイド性消炎鎮痛剤を含む薬



薬局・薬店で販売されて
いる薬も含め、非ステロ
イド性消炎鎮痛剤という
成分が含まれている場合
は注意して下さい。

Check!

他の病気で受診するときや、薬局・薬店で上記のお薬を
購入するときは、このお薬を飲んでいることを必ず医師
または薬剤師に伝えて下さい。

服用中に注意していただきたい症状について

このお薬は、血液中の濃度が上がりすぎると、次のような症状(リチウム中毒の初期症状)があらわれることがあります。



手足の震え、
動きづらい、
ふらつき



吐き気、嘔吐、
下痢、食欲低下



発熱、発汗



意識がぼんやりする、
眠ってしまう

など

Check!

このような症状があらわれたときは、必ず医師または薬剤師に伝えて、指示に従って下さい。

ほかにも、気になる症状やわからないことがありましたら、医師または薬剤師にご相談下さい。



医療機関名・薬局名



大正製薬株式会社

2022年6月作成
No.66185